

グループ学習会を開催しよう!



『地上』を使いこなして組織力を高めよう

JA青年組織とは、「JAをよりどころとして、これから先、地域や農業を担う人たちが、未来を見すえながら共通の悩みや思いを解決していく組織」。盟友が集まって、どうすれば解決、実現できるのか、意見交換することから始めよう!まずは『地上』の記事をヒントに話を始めては?農業・地域・JA組織のリーダーに向けた雑誌『地上』は、学習会のテーマの宝庫。ぜひ、グループ学習会にお役立てください。



『地上』を使った グループ学習会のすすめ方

まずは集まることが大事。
『地上』を“さかな”にして、気軽に
ちょっとまじめな話をしてみませんか。



1 会場・開会の日時を決定し、 参加者を募る

会場はJAの会議室や自宅など、参加者が気軽に集まれる場所で。『地上』を購読している青年部員に声をかけるなど、参加を呼びかけよう。購読していない人にはこの機会に購読をすすめよう。

2 テーマを決める

まずは集まって『地上』の表紙をめくり、目次を斜め読みするだけでもOK。そこからメンバーが関心のありそうなテーマを見つけ、意見、感想などを出し合い、話し合おう。

3 身構えず自由に

身近なことから始め、あまり背伸びせず、楽しい雰囲気を心がける。思つたことを自由に話し合えるようにし、仲間意識を高めよう。

4 話し合った内容は 記録として残す

話し合った内容は記録として残しておこう。活動の記録は今後の学習会の方向性を探る貴重な資料となります。

5 ときには専門家や特技を 持っている人の力を借りよう

テーマや内容によっては専門知識、技能を持った人の協力を仰いで、学習会を盛り上げよう。

6 活動のマンネリ化を 防ごう

グループ活動活性化のために、発表会や他のグループとの交流をすすめ、新しいものの見方や、考え方を学ぶと同時に、活動のマンネリ化を防ごう。

全国の青年組織ではこんな学習会を開いています!



JA会津よつば(福島県)

『地上』を使った学習会の開催を通じて、ポリシーブックの作成・活用とのメリットを学び、その作成を行った。活発な意見が出て、参加型の学習会となった。今後、各支所に学習会の開催を広げていくよう働きかける。

JAみな穂(富山県)

学習会で、地元の高校に農業科がなくなる可能性があることが判明。『地上』の事例から解決方策を考え、「食農教育に関して中学生へのアプローチが不足している」「長年、商品開発等で協力してもらった地元高校の農業科を残すために何ができるのか」といった意見が出た。今後中学校との連携強化や農業科のPRプロジェクトの立ち上げといった活動の展開を予定している。

JAひだ(岐阜県)

以前から盟友同士の課題認識を共有し、自分たちの行動目標を反映したポリシーブックの作成に取り組んでいた。改めてポリシーブック作成に対する認識を深め、再度作成すること目的として、毎年冬季研修会を開催している「冬のつどい」において、『地上』11月号(盟友皆読運動号)を活用した学習会を開催した。





「地上」を参考に 学習会を開こう!

参加者の共通の話題になりそうな記事や、組織内で持ち上がっている課題、みんなに知りたい内容の記事を選ぶと広がりが出てきます。

こんな時 こんな企画を参考に!

どうする? なにやる? 青年組織

JAYOUTHのページ

- 若きリーダーの背中
JA青年組織リーダーの人物ルポ
- 恋農age
若手女性農業者の夢と挑戦
- 現場発! 盟You伝
JA青年組織のさまざまな活動リポート
- 今月の「いいね!」
JA青年組織の活動をミニニュース形式で掲載
- おれが知りたい 協同組合塾
身近にある「協同」から確認していこう

はやりは? 売り方は?

農業マーケティング

- 青山浩子の農家のひきだし
事例満載で農業の魅力を発信
- 心を動かす! 販促の極意
人の心に届く言葉、販売方法とは?
- 品目動向・トレンド
作物別の動向やトレンドを読みます
- 農業技術最前線
最新技術や研究をリポート

どうなってるの? 農業情勢

特集・特別企画は3つの視点から

JAグループの自己改革。なかでも農業者の所得増大、農業生産の拡大のための営農、販売の強化に資する企画を充実するとともに、刻々と変わる農業情勢、社会情勢に関する情報を提供します。

- 世界・日本の社会・経済を読み解く企画
- 農業・農政の動きを読み解く企画
- これからのJA・地域を展望する企画
- 農政コンパス
農業情勢やその背景を解説します
- 農政ダイジェスト
ひと月の農政の動きをダイジェストに

別冊付録(年2回)も
グループ学習会のテキストに最適!



農業・農政の理解や組織強化をテーマに掘り下げた充実の別冊付録。
4月号 (JA青年組織学習強化運動号) と
11月号 (JA青年組織盟友皆読運動号)
の年2回つきます。